

ドレン水
 処理装置 **ドレントレー**



エアコンプレッサから出る、**ドレン水**。実は非常に不純物の多いもので特にコンプレッサオイルなどの油分が含まれており、そのまま排水すると環境への影響が大きく、各種法令にも抵触します。

そこで今回のYMJX TIMESは**ドレン水処理装置ドレントレー**のご紹介です。法令の遵守や環境保全、産廃処理のコスト削減につながります。ドレン水の発生量が多い夏場の6月～9月に向けて今からドレン水対策を検討してみたいはいかがですか？ **デモ機の無料貸出サービス**も行っております。

ドレントレー導入メリット

- **全国の排水基準値に適応**
- **5つの強み**



ドレン原水を下水に放流可能な水に処理します。
 処理能力：5mg/L (ppm) 以下
 (ノルマルヘキサン抽出物質)

- 水質汚濁防止法の排水基準[全国基準:5mg/L(ppm)]をクリアーし、法律を遵守できます。
- ISO14001等の環境認証制度の審査基準をクリアー。

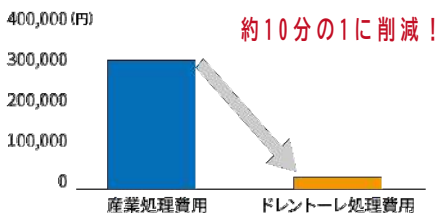
- **電源不要**⇒全機種電源不要。動力を一切使用しません。
- **省スペース**⇒小型設計のため、設置場所を選びません。
- **簡単設置**⇒シンプルな構造で簡単に設置可能です。電源不要のため電気工事も不要です。(エアチューブを用いたワンタッチ接続のみ。)
- **簡易な処理槽交換システム**⇒特別な技術がなくても簡単に処理槽の交換ができます。
- **独自フィルター使用**⇒特許を取得している独自フィルターにより、長期間安定した能力を発揮します。

ドレン水の産業廃棄物処理費用を大幅削減



産廃業者で処理した場合(一例)
 25円/L×11,616L=約29.0万円/年

ドレントレーで処理した場合
 2.8円/L×11,616L=約3.2万円/年
 ※37Kwのスクリーコンプレッサの場合



約25.8万円/年の節約効果!!
 大幅なコストダウンに貢献します!!

- ドレン水を産業廃棄物として処理をしている場合は、産業廃棄物処理量がゼロに!!
- 処理後の水は下水へ放流が可能なため、ドラム缶等に溜める必要なし
- 設置後のメンテナンスは処理槽の交換のみ
 参考：エレメント交換サイクルの目安
 運転条件：油分濃度300mg/L (ppm) 10時間稼動/日…約1.5年
 運転条件：油分濃度150mg/L (ppm) 10時間稼動/日…約3.0年
 (処理槽交換サイクルは油分濃度と稼動時間により変動します)

ヤマジックス株式会社

本社：滋賀県野洲市野洲1232-1 077-587-3901
 彦根事業所：滋賀県彦根市野田山町820 0749-26-7771
 北関東営業所：栃木県佐野市茂呂山町3-1 0283-25-8540
 第7下田ビル101号